

CCT ワークショップ 2010

テーマ： 低炭素社会実現に向けたクリーンコール技術の普及

低炭素社会実現に向けて、石炭分野においては先進的なクリーンコール技術の世界的な普及、さらには大幅な CO2 削減に向けてゼロエミッション技術の開発と普及が求められている。石炭分野においてゼロエミッションを実現するためには、CCS(Carbon Capture and Storage)の大規模実証、制度・環境整備、国際協力強化等の施策が必要であり、ビジネススペースで CCS を実現するにはまだ時間を要するため、今から CCS の実用化に向けた技術的、経済的な取り組み及び制度構築をしていくことが重要である。

このような状況のもと、CCT ワークショップ 2010 は、世界の CCS 実証プロジェクトの実現を支援するために、昨年豪州政府により立ち上げられた GCCSI(Global CCS Institute)の CEO である Nick Otter 氏を迎えて基調講演をお願いし、続いてわが国の産学官の CCS 関係者とのパネルディスカッションを実施し、CCS に関する世界の潮流とわが国の潮流について意見交換をしていただく。

また、わが国のクリーンコール技術と CCS 技術の最新動向及び石炭資源の重要性から低品位炭利用技術と国際協力について各種講演をしていただき、さらに今後低炭素社会の実現に向けてわが国のクリーンコール技術が果たすべき役割について、各セッションモデレーターを中心に議論していただく予定である。特に、今後のわが国のクリーンコール技術のビジネス展開は国内よりむしろ海外、特に、米国、中国、インド等の産炭国を中心としたビジネス展開が大きな鍵を握っていると考えられるので、その実現に向けての方策にフォーカスする。

本 CCT ワークショップは、この分野の第一線の専門家に、講演、ディスカッションをお願いしており、関連する分野で仕事をしている若者や大学で勉強中の学生らがクリーンコール技術やそのビジネス展開について学ぶのに格好の場であると思われるので、そのような方々に多数ご参加いただければ幸いである。

CCT ワークショップ 2010 に参加ご希望の方は、別紙の申込用紙に所定の項目を記入して頂き、6 月 30 日(水)までに E-mail 又は FAX でお申し込みください。ただし、定員になり次第締め切らせて頂きます。

E-mail: cctws@jcoal.or.jp

FAX : 03-6400-5207

1. 日時

2010 年 7 月 6 日(火) 13:30~17:00

2010 年 7 月 7 日(水) 9:30~17:55

2. 場所

ホテル アジュール竹芝 14F

東京都港区海岸 1-11-2(TEL.03-3437-5566)

(ゆりかもめ竹芝駅から1分、JR 浜松町駅から7分)

<http://www.hotel-azur.com/>

3. 会費

無料(ただし、定員 250 名になり次第、締め切らせて頂きます。)

4. 意見交換会(同ホテル 13F)

2010 年 7 月 6 日(火) 17:15~19:30

会費 5,000 円

<CCT ワークショップ 2010 プログラム>

【7 月 6 日(火) 13:30-17:00】(同時通訳付)

開会挨拶

(財)石炭エネルギーセンター理事長 並木 徹

<オープニングセッション(13:30-14:50)>

モデレーター: (財)石炭エネルギーセンター アジア太平洋コールフローセンター事務長代理
原田道昭

基調講演: CCS を巡る世界の動向と GCCSI の今後の展開(Nick Otter, Chief Executive Officer,
Global CCS Institute(GCCSI))

基調講演: ゼロエミッション社会構築に向けた石炭エネルギー分野の役割とわが国の石炭政策
(経済産業省石炭課長 國友宏俊)

<休憩 14:50-15:10>

<セッション 1: パネルディスカッション(15:10-17:00)>

テーマ: 石炭火力のゼロエミッション化に向けて

モデレーター: 独立行政法人産業技術総合研究所主幹研究員 赤井 誠

<パネリスト>

- ・Nick Otter, Chief Executive Officer, Global CCS Institute
- ・経済産業省石炭課長 國友宏俊
- ・日本 CCS 調査(株) 代表取締役社長 石井正一
- ・電源開発(株) 常務取締役 藤富正晴
- ・三菱重工業(株) 代表取締役副社長 福江一郎

<意見交換会 17:15-19:30 >

【7月7日 9:30-17:55】

<セッション 2(9:30-12:00)>

テーマ:ゼロエミッション石炭火力技術と普及

モデレーター: 東京大学教授 堤 敦司

- (1)わが国のクリーンコール技術の開発と普及戦略(経済産業省石炭課課長補佐 木原栄治)
- (2)ゼロエミッション石炭火力技術とその普及((財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 首席研究員 佐藤幹夫)
- (3)酸素吹きIGCC+CCSによるゼロエミッション石炭火力の開発((株)日立製作所主管技師 長崎 伸男)
- (4)石炭火力における Post Combustion 技術の開発((株)東芝電力システム社技師長 風尾幸彦)
- (5)Oxyfuel Combustion 技術 実証プロジェクトの状況((株)IHI 電力事業部開発部課長 山田敏彦)
- (6)高効率石炭火力システム IGCC における Pre-combustion 技術(三菱重工業(株)原動機事業本部 技師長 橋本貴雄)

<12:00-13:30 昼食>

<セッション 3(13:30-15:35)>

テーマ:わが国の低品位炭利用技術と国際協力

モデレーター: 京都大学教授 三浦孝一

- (1)わが国の低品位炭利用技術と国際協力(経済産業省石炭課企画官 渡部義賢)
- (2)褐炭脱水技術とその総合的利用(九州電力(株)総合研究所課長 原田達朗)
- (3)低品位炭の熱水改質技術とその商業化(日揮(株)技術開発部主任研究員 下城実喜男)
- (4)二塔式ガス化炉による褐炭利用技術((株)IHI電力事業部開発部課長 谷 秀久)
- (5)高効率石炭ガス化技術の開発と低品位炭への適用(新日鉄エンジニアリング(株)クリーンコール推進室長 水野正孝)

<休憩 15:35-15:55>

<クロージングセッション: パネルディスカッション(15:55-17:45)>

テーマ: 2030 年に向けたわが国の石炭利用技術の開発・普及とゼロエミッション化

モデレーター:九州大学特任教授 持田 勲

<パネリスト>

- ・経済産業省石炭課課長補佐 伊藤 浩
- ・独立行政法人産業技術総合研究所主幹研究員 赤井 誠
- ・東京大学教授 堤 敦司
- ・京都大学教授 三浦孝一
- ・(財)電力中央研究所エネルギー技術研究所首席研究員 佐藤幹夫

閉会挨拶(17:45-17:55)

(財)石炭エネルギーセンター 専務理事 櫻井繁樹